令和2年度

津和野町芸術士®派遣事業

～アートがつくる あそび と まなび～













津和野町 芸術士®派遣事業

- “アート” が つなぐ あそび と 学び -

津和野町では、**「0歳児からのひとづくり」**をキーワードとして
「自ら学び続ける子」という指針を共有し、乳幼児期から保育園
小学校から高校までの教育環境の整備を進めています。

それに伴い、教育委員会では平成28年度より
「芸術士®派遣事業」という新しい事業を取り入れました。
現在、芸術士3名が津和野町内の保育園や小学校に派遣され、活動しています。

芸術士®活動は、芸術の専門知識を教えるものではなく
日頃の遊びや身近なものを題材としたアート活動を通して
感性と情緒を豊かにし、**心に学びの礎を創り**ます。
五感を通して自分の思いや色や形、言葉を使って表現をする事で、
技術や創造力だけではなく、時間や人の気持ちなど、
目に見えないものを想像する抽象的な思考も育みます。
これらの力が、就学以降の学校や日常生活の中で
自分で考え、表現する力につながっていきます。

「津和野の子どもたちの教育を保育士や先生、保護者も町の人も専門家もみんな一緒に！」

「レッジョ・エミリア・アプローチ」という北イタリア発祥の教育姿勢をもとに
津和野町独自の活動を展開する中で、個々の感性を育むだけでなく
アートを通して**教育施設が地域とつながる環境づくり**にも力を入れています。

芸術士®とは









芸術士®とは、「自ら学び続ける子」を指針とした津和野町の「０歳児からのひとづくり事業」の一環として、アートを通したワークショップにより、子どもたちの感性と創造性を育む人です。

ワークショップにて子どもたちは、初めて見るものや、びっくりするような芸術士®のスキル、やりたい事ができる自由に出会います。その中で子どもたちはあらゆるものを自ら発見し、挑戦や失敗、個人での探求や、友だちとの協働を通し、思い描いたものを実現していきます。

たくさんのワクワクするものに囲まれた芸術士®との活動を、より充実したものとするために、自然のものや地域からの廃材も多く使われ、子どもたちの意思を自然環境やリサイクルへと向ける試みも行っています。













また、芸術士®は、子どもたちが主体的に関われる環境づくりも行っています。
子どもたちの行動から興味の種を見出し、それを学びに導きます。芸術士®によって提供された多くの選択肢や、その子に相応しい素材や知識により、子どもたちは自然に主体的な学びに取り組むことができます。

芸術士®による、子どもの興味に寄り添った環境は、子どもたちにとって、より多くの事を学び、「知る喜び」や「考える楽しさ」を身につけるための土壌となっています。

芸術士®という言葉の印象から、「芸術を教える専門家」という印象を抱かれることがありますが、芸術士®とは、芸術のテクニックを教えるのではなく、アートを通して、驚きや好奇心といった主体的な学びの種と、それを育む環境を、先生方や地域の皆様と協力しながら、子どもたちに提供していく存在なのです。

保育園とつながる





『豊かな感性と表現』（保育所保育指針より）を養うことを目的として、日常生活では味わうことのできないダイナミックなアート活動、様々な材料を使った活動などを行います。
各園のペースに寄り添い、子どもたちの興味関心をもとにした継続的な活動企画も行っております。







今年度から“げいじゅつし通信”を配布し、保護者の方々にも活動が見えるようにしました！

直地（ただち）保育園

今年度は、年中・年少さんを中心に月に2回のペースでみんなと活動を行ってきました。
「クリスマスパーティに“本物のお菓子でおうち”をつくろう」ということで、地元にあるケーキ屋さんからもらったスポンジとパンの耳、お菓子を使っておうちをつくりました。


お菓子の家の設計図を描いたよ！


お菓子のロケット
どこまでも飛んでいきそう。





今日は生クリームが
接着剤のかわりです！

お菓子の家プロジェクト




「僕の大好きなお菓子がいっぱい！」



クリスマスの日、
おやつの時間に
みんなでつくった
お菓子の家を
食べました♪



はたがさこ
畑迫保育園

今年度から定期的に芸術士®活動に入らせてもらいました。ゆったりとしたペースで子どもたちとわくわく楽しい活動を企画。
子どもたちの中で流行っていた「郵便やさんごっこ」に合わせ、オリジナルはがきをつくることにもチャレンジしました。



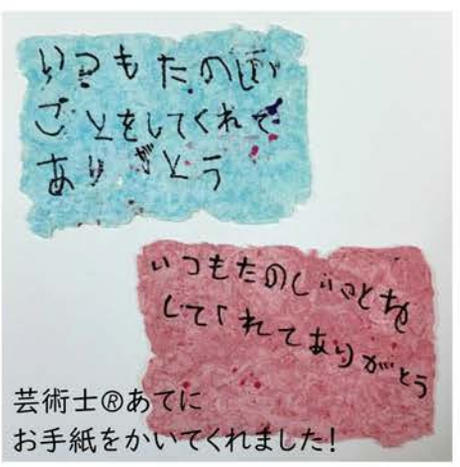
ティッシュとお花がみをちぎってちぎって…

ペットボトルをシェイク！



紙すきではがきづくり

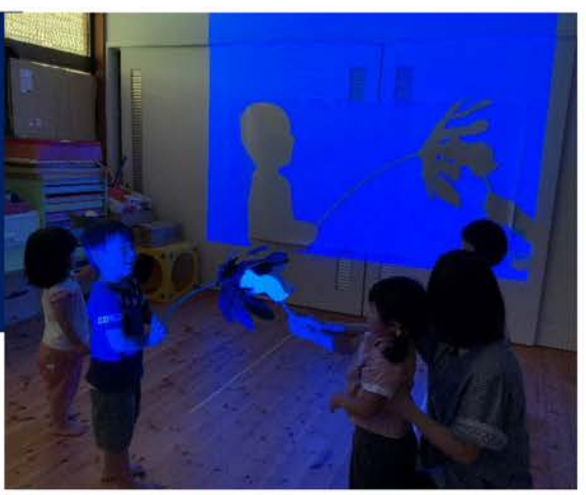




芸術士®あてに
お手紙をかいてくれました！



葉っぱや動物
シルエット
おもしろいね！



影絵あそび

お友だちとお話を
つくってみたり







にちはら
日原保育園

年長さんのみんなとは芸術士®との活動も２年目に。子どもたちの成長を感じながら元気いっぱいに活動を楽しんでくれました！
粘土からの陶芸体験や壁画プロジェクトなど、今年は地域との関わりを持ちながら活動も行ってきました！



器づくりの前にねんどに親しむ活動もしました！







マイうつわをつくろうプロジェクト



器づくりにとりかかる前にどんな器にするかデザインしました。





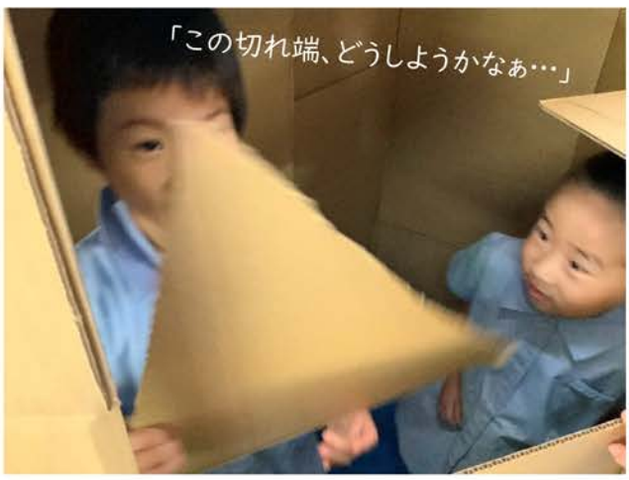




あおはら 青原保育園

今年度から始まった芸術士®との活動。月に1回の活動を毎回思いっきり楽しんでくれる年長さん・年中さん。「みんなでなにがしたい？」 子どもたちと話し合いながら、様々な活動をしてきました！特にはまったのがダンボールでの制作。みんなの発想力には驚かせられました。









子どもたちの工夫が
盛りだくさんです！

ダンボールハウス プロジェクト









木部（きべ）さとやま保育園

年長から年少さんを中心に元気いっぱいな木部っ子たちと活動をしてきました。
運動会で着る T シャツづくり。みんなの大好きなアニメにちなんだ T シャツづくりをしました。廃材を使って T シャツにスタンプをしていろんな模様を表現しました。









世界に一つだけの T シャツをつくりました。

オリジナル T シャツづくり







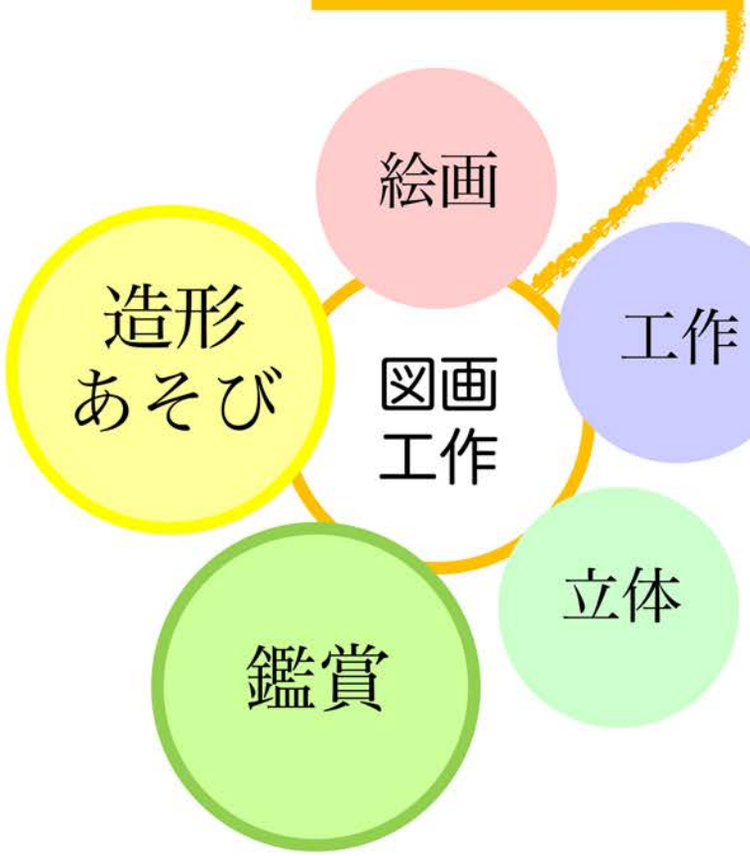




小学校とつながる



アトリエ活動



図工の授業の中でも「造形あそび」「鑑賞」を中心に関わっていきます。ダイナミックな企画や、芸術士®の専門性を生かした企画により、担任の先生だけでは実現しにくい特別な授業を一緒につくります。また、子どもたちが継続的にアート活動を楽しめる場として「アトリエ」の設置と運営も行っています。







津和野小学校


















全国的にもほとんど例を見ない「小学校での芸術士®活動」もおかげさまで5年目を迎え、いまでは町内のすべての小学校にて受け入れて頂いています。
「巨大スライム」「色水ラボ×化学実験」「ありえない映像制作」「抽象画〜青騎士〜」など、図工の教科書に留まらず、ジャンルを超え、時に学校を飛び出し、アーティスト（芸術士®）と共に見たことない素材や技に出会い、、先生方や子どもたち、地域や行政の皆様のご理解のもと、今年度も子どもたちにとって多くの特別な時間をつくることができました。

日原小学校

















木部小学校

















子どもたちのワクワクすることを考え「やってみたいこと」や「伝えたいこと」に耳を傾け、子どもたちと同じ目線で伴走する日々。芸術士®として子どもたちと過ごす日々は、いつも驚きや発見、好奇心や挑戦の連続です。
自分の心を見つめ、物事を様々な目線で観察し、自分の思いを他者に伝える。図工の時間は主体的な人間生活を送る上で重要な能力を育てます。芸術という「感覚と表現」のプロとして、保育園だけでなく、小学校の図工にも関わることができるのは、子どもたちや芸術士®にとって大変有意義であると感じています。

青原小学校

















アトリエ















とはいえ、芸術士®との特別な時間は授業内で終わってしまいます。授業中での素晴らしいアイデアや意欲、そしてそれに相応しい発展や達成感を得られるまでの時間が用意されていないのが現状です。
そこで芸術士®は、子どもたちが授業時間以外の時間（例えばお昼休みや放課後の学童クラブ）に探求の続きに取り組めるよう、一部の小学校の図工室や学童クラブ施設内に豊富な素材が用意された「アトリエ」を設置し、運営を始めました。
学童クラブでは、アトリエを通した活動のほか、子どもたちの主体的な姿勢を伸ばすため、子どもたちの「やってみたいこと」やリクエストを展開したワークショップを行っています。

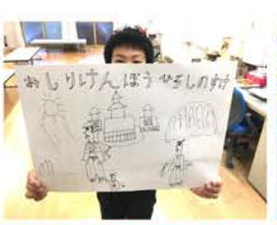
学童クラブ


















地域とつながる



今年度は、なかなか思うように活動できない場面もありましたが、地域のイベントや放課後子ども教室での活動、幼児健診でのアートキット配布などを行いました。



町で生まれる「つかえそうな廃材」をあつめて整理し、町の中心部の倉庫に保管。芸術士®との活動のみならず、様々な教育現場へのデリバリーを行い、造形環境の魅力化を進めています。

喜多屋ウィーク「ブリッジ・オブ・アート　～沖縄の子どもたちと、夏を描く～」

様々な紙やペンなどの素材をもとに「夏といえば?」をヒントにして子どもたちに自由に描いてもらいました。沖縄の子どもたちとオンラインでつないで、お互いの絵を鑑賞して交流しました。





中学生も子どもたちと
一緒に描きました!





オンラインで沖縄の子どもたちと交流中!最後にはお互いの地域の歌を歌いあいました。

つわの蚤の市 「クリスマスをたのしもう」

フリーマーケットを中心とした「つわの蚤の市」のイベントにて子ども向けのワークショップを企画・実施しました。

クリスマスリース・オーナメント・ミニツリーづくり、お絵描きなど。興味のある素材を選んで、好きなものを作りました。当日は、たくさんの人に来ていただき大盛況でした。







今年度の幼児健診では、お家でも遊べる**「アートキット」**を配布しました。季節に合わせた素材やちょっと普段は遊ばないようなものなどを選んでみました。

当日は、健診の待ち時間に親子で楽しそうに遊んでいる姿が見られました。



旧古川邸イベント　(株)FoundingBase 津和野 team × 芸術士®

空き家を改修して、地域内外の人が働きながら繋がり、楽しみを共に創る場所「まちのオフィス」づくり。空き家から出てきた“ふすま”を活用して、地域の子どもたちに様々な画材を使いペイントをしてもらいました。





もっと詳しく！芸術士！

芸術士®のココがスゴい！ ～作業療法士の視点から～













感じる力・動く力

寝転ぶ　這う
立つ　屈む
全身を使う

遊ぶ力・発見する力

豊富な素材
初めて見る素材
リサイクルの廃材
即席アトリエ

ひろげる

挑戦する力・適応する力

窓ガラス
床・壁・布
地域に出る

自分で考える力・協働する力

自由な活動



ふわふわ











子どもはなぜ遊ぶのか？この世に生まれた時、みんな自分にも初めまして！子どもたちは自分のからだを操作し主体的に環境と関わる中で「自分」や「環境」を把握し社会に適応して生きていく力をつけます。時として大人にとって無意味に思える遊びや、やって欲しくないイタズラも子どもたちの発達において大切な意味があります。多様性が謳われる時代に逆らって、遊ぶ環境や方法までが制限されている昨今、子どもたちにはルールという「知識」が増える一方で、体験を通して「知恵」を得る機会が減っているように思います。そんな時代の中、津和野町の芸術士®さんたちは、子どもたちが自由に考え全身を使って創造していく機会を提供しています。また寝転ぶ、這う、立つ、屈むなどの動きのバリエーションを広げ、屋内から外、２次元から３次元へと空間を広げ、落ち葉や枝、棉に紙テープ、角砂糖に風船、床、壁、窓ガラスと素材の枠もキャンバスの枠も広げ、子どもの発達の栄養素である感覚・運動をたっぷりと提供し、気づく力、発見する力、挑戦する力、考える力を育んでいます。人間には生まれながらにして自分の発達を喜ぶ機能が備わっています。子どもたちの無限の可能性と喜びが溢れる、そんな芸術士® の活動がたくさんの子どもたちに届くことを願っています。

作業療法士　松村エリ









学びのはじまりを作る

ひとはいつ、学びたがるのか？

何かに興味を持ったとき、人はそれを「知りたい」「やってみたい」と思います。そうした思いを肯定されて育ったり、興味を伸ばし、「知る」「探求する」楽しさを体験した人は、自らの興味をより大切にし、自ら学びながら育っていきます。アートのワークショップを通して子どもたちのワクワクを刺激し、主体的な「学びのはじまり」を作るのが、芸術士®です。







「自ら学び続ける子」を育むために

～探究を終わらせない環境づくり～

1 子どもたちから興味・関心を見出す。

定期的な訪問

2 興味を伸ばし、世界を広げるコンテンツの用意。

ワークショップ
イベント

一時的な環境

3 興味・関心を好きなだけ伸ばせる環境づくり

空きスペースや
空き教室のアトリエ化

恒常的な環境

4 生まれた発見や作品をさらなる学びへ導く。

先生方との振り返り
子どもたちとの振り返り
「つぎは何をしようか？」







ダイナミックに絵具や画具をたっぷり使えたこと。芸術士®さんが、子どものやろうとしていることを出来るだけ妨げずに、共感の言葉をかけられていたこと。

保育士

自由に楽しんでする活動をして下さるので子どもも楽しんでます。子どもに聞いてみると、むかしの絵の鑑賞や”写ルンです”で写真をとったことが楽しくて心に残っているようです。
そのおかげで、今、写真をとる事にとても興味を持ってます。きっと、たぶん、芸術士®さん自身が楽しんでされてるんでしょうね。だから子供も楽しめてるんだと思います。

保護者

思いきり色ぬりをさせてもらったことが楽しかったようで「〇〇先生とまたやりたいなー！」と話していました。

保護者

いろんな工夫をしてくださっているので、みんな笑顔になって楽しく図工ができます。はにわが印象に残っています。自分のオリジナルで作れたのでとても学ぶことが多かったです。アトリエもたくさんの材料があるので自由に作れていいなと思いました。

小学校児童

楽しい、たくさん材料がある、と子どもたちは大喜びでした。特に、色水遊び、版遊びは担任が準備するのが大変なところをやっていただけ、ありがたかったです。

小学校教諭

芸術士®の活動で印象に残っていること

普段ふれたことのない素材にふれた時の興味津々そうだったり、嬉しそうだったり、不思議そうだったり、様々に見せてくれる子どもたちの表情はいつもとても印象的です。子どもたちの生き生きとした表情は私たちもとても嬉しくなります。

保育士

夏まつりのおみこし作り、粘土のケーキ作り、お菓子の家づくりが印象に残っています。
おみこしをみんなで作って、おまつりで使っているのはとてもすてきだなと思いました。

保護者

子どもたちの興味、やってみたいことを調査した上で、とても楽しい充実した活動ができました。五年女児希望の「服づくり」や、１・２年生の大好きな「絵を描くコーナー」２～３年生男児が熱中している戦国時代を「絵巻物に描く」など、自分の興味のあることに熱中する姿が印象的でした。いろんな種類の材料をたくさん用意してくださったので、子供達の発想やアイデアがどんどん広がって、一人一人に見事な力作ができあがりました。

学童クラブスタッフ

なんといっても自由！！

小学校児童

芸術士®にこんなことして欲しいな！

急な依頼にも関わらず、こちら（学校）の要望をしっかり受け止めていただきほんとうにありがたい。「こんなこともできますよ！」というアイディアを今後もぜひ教えていただけると狭い視野しかない学級担任としては助かります。
小学校教諭

日頃触れる機会がない材料や大規模な大胆な設定での活動。
保育士

家ではできないこと、使わない素材など使った活動を通して、素人では思いつかないような様々な芸術に触れることができる活動をしてもらえたら嬉しいです。
保護者

みんなに芸術を広めてほしい。
小学校児童

体験や活動を通して人と何か物を作り上げる喜びを感じられるような仕組みやしかけをどんどん企画、実行してほしい。
保護者

みんなが知らないようなおもしろいものをしたいです。
小学校児童

子どもたちの想像力をもっと引き伸ばしてほしい。
保護者

子どもたちのためにつくしてください。
小学校児童

今までのようにイベントで一緒に触れ合って下さったり、アドバイスして下さるといい刺激になるようです。期待してます！
保護者

たくさんの材料を使って自由に作れるのはステキです!!子どもたちの自由な発想を期待します。
保護者

美術館にいっぱい作品を飾ってほしい。
小学校児童

絵画の活動だけでなく例えば製作・音楽などなど様々な”芸術”にふれさせていただける機会にも期待します。私たち保育士には思いつかないような、私たち保育士では与えてあげられないような芸術士さんのプロの活動や素材を取り入れてほしいです。そして、私たち保育士はそんな芸術士さんのプロの技から保育に活かせていけることを学ばさせていただきたいと思い、楽しみにしております。
保育士

子どもの将来の夢につながる様な活動をして頂けると嬉しいです。こんな仕事もあるんだとか発見があると、未来がワクワクすると思います。
保護者

津和野町 芸術士®

津和野町芸術士®派遣事業

アートがつなぐ あそび と まなび

令和２年度　活動施設

木部さとやま保育園
畑迫保育園
直地保育園
日原保育園
青原保育園

津和野小学校
木部小学校
日原小学校
青原小学校

津和野中学校
日原中学校
津和野高校

放課後等デイサービスつくしんぼ

参加芸術士®

大田慶（絵画・写真・音楽）

近藤真世（絵画・書道）

坂根侑香利（絵画・表現）

発行日　令和３年３月28日
発行者　津和野町教育委員会
〒699-5605
島根県鹿足郡津和野町後田ロ64番地6
TEL　0856-72-1854
FAX　0856-72-1650
EMAIL　kyouiku@town.tsuwano.lg.jp
制作　津和野町芸術士®
本書記載の写真・文章等の無断使用を禁じます。